

サポートJOYO

京都府立城陽支援学校 地域支援センターだより

平成23年度
第2号

特別支援教育研修会への御参加、ありがとうございました。



「二次障害を防ぐための気づきから支援へーLD支援を中心にー」をテーマに、262名(97団体)の参加を得ての研修会となりました。

<参加者アンケート提出 111人>

- ・すぐに実践に生かせる(29人)
- ・参考になった(74人)
- ・あまり参考にならなかった(4人)



- ・今まであまり意識していなかった二次障害のことを詳しく聞いてよかったです。「頑張らさない」ことが大切だと驚きました。
- ・具体的でわかりやすかった。実践的な内容で、とても参考になった。
- ・初心者にもわかりやすい講演でした。身近な生徒を意識して聞いていると“なるほど”と思うことも多く、ためになりました。

- ・事前の質問を整理し、討議の柱を立ててもらった今回の流れは、よかったですと思う。
- ・具体的な事例が大変わかりやすかった。有賀Dr.の「まとめ」で思いや知識を整理することができた。

肥満研修会講座 6/28

国立病院機構南京都病院小児科部長 徳永修氏に講演していただきました。当日は、地域の小中学校、高等学校等から27名の参加がありました。夏休み前の肥満健康相談で子どもや保護者に伝えていきたいという声が多かったです。

「発達上の課題から小児肥満を考える」



キャリア教育研修会 8/26

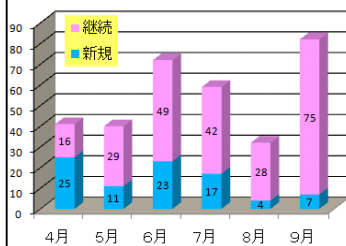
国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 菊地一文氏に講演していただきました。当日は、中学・高校・特別支援学校から40名の参加がありました。理論にとどまらず、キャリア教育の実践例をたくさん紹介していただき、充実した講演会になりました。

「社会自立を目指すキャリア教育とは」

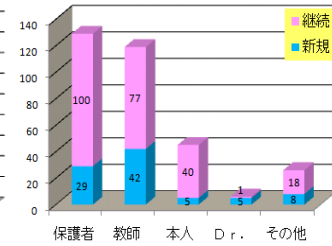


今年度の実施状況と相談傾向(9月末) 新規相談件数 88件、延べ相談件数 326件

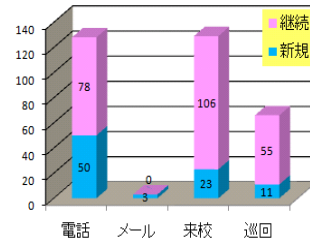
① 月別相談件



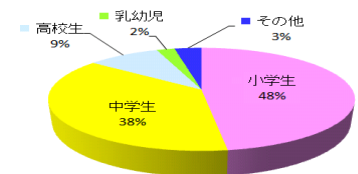
② 相談対象者内訳



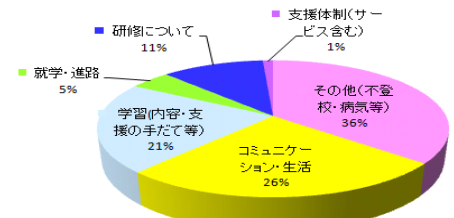
③ 相談形態別件数



④ 新規相談者の内訳



⑤ 新規相談の内容



①6月は、巡回相談や諸検査の実施が増え、継続相談が多くなりました。②保護者や教師からの相談が多く、保護者の継続相談が増えています。③来校相談、電話相談の割合が多くなっています。④相談の対象となる子どもの内訳は、小学生48%、中学生38%、高校生9%となっています。小学生についての相談割合が多くなっています。⑤主となる相談の内容としては、不登校・病気、コミュニケーション・生活についての割合が多いです。不登校・病気についての相談は、学習内容やコミュニケーションと重なっているケースが多いです。

<研修会のご案内> 今年度も「不登校支援研修会」を実施します。御参加お待ちしております。

発達障害のある子どもの不登校への支援

日時 平成23年11月8日(火) 午後3時20分～5時00分
会場 久御山町立ふれあい交流館ゆうホール
テーマ 発達障害のある子どもの不登校への支援
～二次障害や心理的課題と向き合い、寄り添った支援とは～
講師 馬見塚 珠生 氏 (臨床心理士)
親子のこころのエンパワメント研究所 宇治市学校カウンセラー 宇治田原町発達相談員

<不登校事例支援研修会>

日時 平成24年1月30日(月)
15:30～17:00
会場 京都府立城陽支援学校
講師 森 和子 氏 (臨床心理士)
京都府教育委員会スクールカウンセラー
開催日を変更しました